授業科目		国際関係入門					単位		2	
履	修	選択	関連資格					ナンバリン	<b>ノ</b> グ	EN21307J
開講年次	•	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 [	DP2-1 DP3	3–1		
担当教員		福田 猛仁								
授業概要		毎回、下記の各テー内容に関して質問ない。本講義の目標は、日本はの視点」から眺	を募り、質問へ 国際関係論の め、「自分こと	の応答やう 基本的な知 ば」で論じら	ディスカッシ 識を身に作 れるように	ョンを 20 分 すけたうえて	}ほど実施! で、国際レ^	します。		
①国際関係論の基本的な知識を身に付ける。 学生が達成すべき ②国際政治に関する報道を理解できる。 行動目標 ③世界情勢を眺め、論じる際に依拠する「自分なりの視座」を獲					!座」を獲得	することが	できる。			
				達成度	評価					
評価と評価割合/ 評価方法			試験	小テスト	レポート	発表(ロ 頭、プレ ゼンテ ーショ ン)	レポート 外の提 出物	その他	合計	備考
総合評価	 i割合		50	0	0	40	10	0	100	
知識•理角	醒(DP1−1)		30			10			40	
知識・理角	砰(DP1−2)									
知識・理角	翼(DP1−3)									
知識•理角	醒(DP1−4)									
思考•判图	斯(DP2-1)		10			20			30	
思考•判图	斯(DP2−2)									
関心・意欲	次(DP3−1)		10			10	10		30	
関心・意欲	次(DP3−2)									
態度(DP4	<b>ļ−</b> 1)									
態度(DP4	I-2)									
態度(DP	94-3)									
技能•表現 (DP5-1)										
技能·表現 (DP5-2)										
技能•表现	見(DP5-3)									
			;	具体的な達	成の目安					
理想的レベル			+\TP#+	標準的なレベル						
国際関係論に関する基礎的な知識を駆使して、国際的な現象を「自分なりの視座」から分析し、「自分のことば」で論じることができる。				国際関係論の基本的な理論、概念、知識を身に付け、国際政治に関する報道を理解することができる。						
				授業	計画					
進行	テーマ・讃	テーマ・講義内容			授業の運営方法 学習課題		〔(予習∙復習)		予習·復 習時間 (分)	
オリエンテーション 1 講義目的、進め方、評価方法などを詳しく説明します。			明しま	講義 復習:該論		当範囲の復習		30		

国際関係語とはのだろうで、基本的版をの説明   講義   復習:該当範囲の復習   30   30   30   30   30   30   30   3					
国際関係論とは何だろう?②・代表的理論の説明   講義   復習:該当範囲の復習   30   代表的に国際関係理論である「現実主義」について解説します。   30   1   1   1   1   1   1   1   1   1	2	_	講義	復習:該当範囲の復習	30
代表的な国際関係連続である「現実主義」について解放します。		和」などについて解説します。			
説します。	3		講義	復習:該当範囲の復習	30
4 代表的な国際関係理論である「理想主義」と「急進主義」について解説します。 カの体系①・取今の主体・目的・手段の変化が、国際関係にいかなる変化をもたらしてきたのかを解説します。 カの体系②・取りを対していてのがののでは、できまり、関係関係にいかなる変化をもたらしてきたのかを解説します。 カの体系②・取りを関係でいてのでは、関係関係にいかなる。では、影響・範囲の復習 30 では、現場の体系②・同盟」の有効性と関系について解説します。 カの体系③・同盟 現会の体系②・対ローバリゼーションとはどのような現象であり、国際関係にいかなる影響を及ぼしてきたのかを解説します。 利益の体系②・接側と関係の状況を紹介し、その解消に向けての進筋を検索します。 利益の体系②・接側の関係にかなる影響をあり、国際関係にいかなる影響を表にしてきたのかを解説します。 一個値の体系②・アショナリズムと、での解決に向けての連筋を検索します。 一個値の体系②・アショナリズムと、またの解決に向けての連筋を検索します。 一個値の体系②・アショナリズムと、またの解決に向けての連筋をを表にしてきたのかを解説します。 一個値の体系②・アンョナリズムと、自主主義としてきたのかを解説します。 一個値の体系②・アンョナリズムと、自主主義としてきたのかを解説します。 一個値の体系②・アンョナリズムと、自主主義としてを持つかを解説します。 一個値の体系②・アンョナリズムとは、自主を表としてを認める。 「講義 使習・該当範囲の復習 30 分別・影響について解説します。 一個値の体系③・アン・アンョナリズムとは、自主を表として理能とあるでは、自然を表します。 「「は、表し、テスト 復習・該当範囲の復習 30 対象の形式とめ 本語をの記象 第	3	説します。			
数字の上に作品します。		国際関係論とは何だろう?③:代表的理論の説明	講義	復習:該当範囲の復習	30
カの体系①: 戦争   10	4	代表的な国際関係理論である「理想主義」と「急進主			
8 戦争の主体・目的・手段の変化が、国際関係にいかな る変化をもたらしてきたのかを解説します。 カの体系②・力の内象 1の 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		義」について解説します。			
名変化をもたらしてきたのかを解説します。		力の体系①:戦争	講義	復習:該当範囲の復習	30
おの体系②: 力の均衡   取参削にのメカニズムとしての「力の均衡」の有効性 と関係について解説します。	5	戦争の主体・目的・手段の変化が、国際関係にいかな			
一日		る変化をもたらしてきたのかを解説します。			
と関界について解説します。		力の体系②:力の均衡	講義	復習:該当範囲の復習	30
カの体系②: 同盟	6	戦争抑止のメカニズムとしての「カの均衡」の有効性			
一次		と限界について解説します。			
1		力の体系③:同盟	講義	復習:該当範囲の復習	30
別について解説します。   科益の体系①:グローバリゼーション   講義   復習:該当範囲の復習   30	7	戦争抑止のメカニズムとしての「同盟」の有効性と限			
利益の体系①:グローバリゼーション					
8		12111	講義		30
関係にいかなる影響を及ぼしてきたのかを解説します。			HT 32	Ka · Water VKa	
対益の体系②: 貧困と不平等   対益の体系②: 資困と不平等   対益の体系②: 環境問題   世界の貧困と不平等の状況を紹介し、その解消に向けての道筋を模索します。	8				
利益の体系②: 貧困と不平等   講義   復習:該当範囲の復習   30   世界の貧困と不平等の状況を紹介し、その解消に向けての道筋を模索します。   利益の体系③: 環境問題   世界の環境破壊の状況を紹介し、その解決に向けての道筋を模索します。   (					
世界の貧困と不平等の状況を紹介し、その解消に向けての道筋を模素します。				クロス *** *** *** *** *** *** *** *** **** ****	20
けての道筋を模索します。			一 <del>門我</del> 	1を白:砂田町の後白	30
利益の体系③:環境問題 世界の環境破壊の状況を紹介し、その解決に向けての道筋を模索します。	9				
10 世界の環境破壊の状況を紹介し、その解決に向けて の道筋を模索します。			=# **		
の道筋を模索します。     価値の体系①:ナショナリズム			講義	復習:該当範囲の復習	30
価値の体系①:ナショナリズム ナショナリズムとはどのような現象であり、国際関係に いかなる影響を及ぼしてきたのかを解説します。 価値の体系②:民主主義と人権 民主主義と人権を必ぐる価値観の相違が国際関係に 及ぼす影響について解説します。 価値の体系③文明と宗教 文明と宗教の相違が国際関係に及ぼす影響について 解説します。 諸義の総まとめ 本講義の試験 15	10				
11       ナショナリズムとはどのような現象であり、国際関係にいかなる影響を及ぼしてきたのかを解説します。       講義       復習:該当範囲の復習       30 分         12       展主主義と人権をめぐる価値観の相違が国際関係に及ぼす影響について解説します。       講義       復習:該当範囲の復習       30         13					
いかなる影響を及ぼしてきたのかを解説します。     価値の体系②: 民主主義と人権     民主主義と人権をめぐる価値観の相違が国際関係に     及ぼす影響について解説します。     価値の体系③文明と宗教     文明と宗教の相違が国際関係に及ぼす影響について 解説します。     講義の総まとめ     本講義の試験     スま講義の試験     本講義の目験     スまとめ     本はのはないは、     本は、     ででは、     では、     にないは、     にないは、     では、      では、     では、     では、     では、     では、     では、     では、     では、      では、     では、     では、     では、     では、     では、     では、     でででは、     では、     では、     では、     では、     では、     では、     では、     で			講義	復習:該当範囲の復習	30
価値の体系②:民主主義と人権   講義   復習:該当範囲の復習   30 分   12   民主主義と人権をめぐる価値観の相違が国際関係に 及ぼす影響について解説します。   価値の体系③文明と宗教 文明と宗教の相違が国際関係に及ぼす影響について解説します。   講義の総まとめ 本講義の試験   2習:該当範囲の復習   30   30   30   30   30   30   30   3	11				
12   民主主義と人権をめぐる価値観の相違が国際関係に及ぼす影響について解説します。		いかなる影響を及ぼしてきたのかを解説します。			
及ぼす影響について解説します。       講義       復習:該当範囲の復習       30         13 文明と宗教の相違が国際関係に及ぼす影響について解説します。       講義、テスト       復習:該当範囲の復習       30         14 本講義の試験       15       復習:該当範囲の復習       30         15       16       17       18       19       20       21		価値の体系②: 民主主義と人権	講義	復習:該当範囲の復習	30 分
13     価値の体系③文明と宗教 文明と宗教の相違が国際関係に及ぼす影響について 解説します。     講義、テスト     復習:該当範囲の復習     30       14     講義の総まとめ 本講義の試験     講義、テスト     復習:該当範囲の復習     30       15     16     17       18     19     20       21     21	12	民主主義と人権をめぐる価値観の相違が国際関係に			
13     文明と宗教の相違が国際関係に及ぼす影響について解説します。       14     講義の総まとめ本講義の試験       15     復習:該当範囲の復習       16     17       18     19       20     21		及ぼす影響について解説します。			
解説します。       14     講義の総まとめ 本講義の試験     講義、テスト     復習:該当範囲の復習     30       15     16       17     18       19     20       21     21		価値の体系③文明と宗教	講義	復習:該当範囲の復習	30
14     講義の総まとめ 本講義の試験     講義、テスト     復習:該当範囲の復習     30       15     16       17     18       19     20       21     21	13	文明と宗教の相違が国際関係に及ぼす影響について			
14     本講義の試験       15     16       17     18       19     20       21     21		解説します。			
平高 我の高 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (		講義の総まとめ	講義、テスト	復習:該当範囲の復習	30
16       17       18       19       20       21	14	本講義の試験			
17       18       19       20       21	15				
17       18       19       20       21	10				
18       19       20       21	10				
19 20 21 21 21 21 21 21 21 22 23 24 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25	17				
20 21	18				
21	19				
	20				
22	21				
, <del></del>	22				

23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
理解に必要な予備 知識や技能		新聞の国際面・政治面・社会面・経済面を読むこと。						
テキスト		特に指定しない。講義の理解を深める題材として、授業中にニュース画像などをみてもらうことがあります。						
参考図書・教材/ データベース・雑誌 等の紹介		進藤栄一『現代国際関係学』有斐閣 新聞 そのほか、授業中に紹介します。						
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ		今まで政治学や国際関係論を学んだ経験がなくても、国際関係に興味を持つ人であれば本講義の受講を歓迎します。						
達成度評価に関するコメント		試験内容に関しては、授業中に指示します。						